

藤前干潟
ふれあい事業
とは？

藤前干潟の重要性を伝えるため、行政やNPOなどが協働して
さまざまな活動を行っています。ぜひ皆さん藤前干潟に遊びに来てください！

展示

写真やイラスト等から野鳥や藤前干潟の魅力や海の課題をご紹介します。

ワークショップ

鳥の模型に色を塗ったり、音楽の演奏をしてみたり、絵を描いてみたり！
いろいろな体験をとおして藤前干潟とふれあいました。

イベント

申込みが必要なのは、広報なやややPまでお知らせします。

2021年度の
藤前干潟ふれあい事業の
イベントの様子をのぞいてみよう！

ウミガメのフンも観察したよ！

干潟体験

たくさんの干潟の生きものと出会うことができました！
今年どんな生きものに会えるのでしょうか？

講演会

藤前干潟を飛び出して、生きものの行動から海の世界を探る研究のお話を聞くことが出来ました。

YouTubeにアーカイブがあるよ！

オンライン講座

オンラインで干潟の生きもののお話を聞きました。

楽しいことは分け合おう！

YouTubeで藤前干潟ふれあい事業のイベントの様子やここでしか見られない様々なコンテンツを用意していきます！ぜひチェックしてみてくださいね！

URL <https://www.youtube.com/channel/UCLGzY7jN75eJAY5qQESXjZQ>

事業名	対 象	内 容	日 程	問合せ先
子ども向け干潟観察会	3歳～小学4年生 (保護者同伴)	干潟に入り、生きもの観察をしてその生態を学びます。	6月4日(土)	①
干潟を音であそぼ！	小学生 (保護者同伴)	干潟と音楽を組み合わせたイベント [演奏者：パーカッショニスト 本多“taco-bow” 正典さん]	7月26日(火)	②
干潟体験（泥干潟）	小学4年生～大人 (保護者同伴)	干潟に入り、生きもの観察をしてその生態を学びます。	7月31日(日) 8月14日(日)	①
教員向けプログラム	小中学校教職員	教職員の方を対象に、授業で扱う藤前干潟の生きものと ごみ処理行政についてお話しし、干潟体験も行います。	8月10日(水)	①
ひがたにくるトリ、どんなトリ？	小学1～3年生 (保護者同伴)	野鳥観察をした後、カモのミニ模型へ色ぬりをします。 [講師：ハンドメイド作家 Cha Chattoさん]	8月24日(水)	①
ヨシ原の人気者 カニとトビハゼに会おう！	どなたでも	ヨシ原の中に入って、生きものを観察してその生態を学びます。	9月23日(金・祝)	①
記念式典（仮）	どなたでも	藤前干潟がラムサール条約に登録された11月に20周年を 記念した中心イベントを予定しています！	11月予定	①
サイエンスカフェ (恐竜のお話)	どなたでも	Coming soon...	12月4日(日)	①
バードウォッチング	どなたでも	野鳥観察しよう！	2月4日(土)	①

事業名	日 程	主 催	問合せ先
‘22 春の藤前干潟クリーン大作戦	5月28日(土)	藤前干潟クリーン大作戦実行委員会	③
‘22 秋の藤前干潟クリーン大作戦	10月22日(土)	藤前干潟クリーン大作戦実行委員会	③

問合せ先	電 話	休 館 日	開 館 時 間	Eメール
① 藤前干潟ふれあい事業実行委員会事務局 (名古屋環境学習センター内)	052-223-1067	月曜日 (祝日の場合は翌平日) 年末年始	9：30～17：00	a2662@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp
② 環境省名古屋自然保護官事務所	052-389-2877	土・日曜日、祝日 年末年始	9：00～17：00	WB-NAGOYA@env.go.jp
③ 藤前干潟クリーン大作戦 実行委員会事務局	090-6399-9774	—	—	cleanupfujimae@gmail.com

藤前干潟周辺の施設	電 話	休 館 日	開 館 時 間	Eメール
藤前活動センター	052-309-7260	月曜日 (祝日の場合は翌平日)	9：00～16：00	—
稲永ビジターセンター	052-389-5821	第3水曜日 (祝日の場合は第4水曜日) 年末年始	9：00～16：00	—
名古屋市野鳥観察館	052-381-0160	—	9：00～16：30	nagoya.kansatukan@car.ocn.ne.jp

藤前干潟ふれあい事業
YouTubeチャンネル開設！

YouTubeで藤前干潟ふれあい事業でのイベントの様子やここでしか見られない様々なコンテンツを用意していきます！ぜひチェックしてみてくださいね！

URL <https://www.youtube.com/channel/UCLGzY7jN75eJAY5qQESXjZQ>

共催講座募集のご案内！

藤前干潟ラムサール条約登録20周年をともに盛り上げてくれる事業を募集します！
詳しくは下記の藤前干潟ふれあい事業ウェブサイトを確認してください。

藤前干潟ふれあい事業
ウェブサイト！

チェックしてみてくださいね！

藤前干潟ふれあい事業のイベント情報をこちらのウェブサイトですぐ更新します！

URL <https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000150319.html>

※古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

ぜひ
藤前干潟に足を
運んでください！

みて！ふれて！かんじる！

藤前干潟
ふれあい
事業

行っていきます！
協力して様々なイベントを
行っています！

皆さんにお伝えしたくて
名古屋、環境省、愛知県、NPO等が
協力して様々なイベントを
行っています！

藤前干潟の魅力
を
皆さんにお伝えしたくて
名古屋、環境省、愛知県、NPO等が
協力して様々なイベントを
行っています！

お問い合わせ先

藤前干潟ふれあい事業実行委員会
(事務局：名古屋環境学習センター)
〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号
伏見ライフプラザ13階 名古屋環境学習センター内
TEL 052-223-1067 FAX 052-223-4199
Eメール a2662@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp 藤前干潟ふれあい事業 検索

ラムサール条約 20th
藤前干潟
ふじまえ ひがた

お祝い！

藤前干潟ラムサール条約登録20周年記念
アンバサダー 高柳 明音さん

藤前干潟の歴史

～守られた干潟を未来へつなぐ～

その昔、伊勢湾の奥には広大な干潟が広がっていました。しかし工業用地としての利用や大規模干拓で埋立が進み、最後にかろうじて残されたのが藤前干潟です。

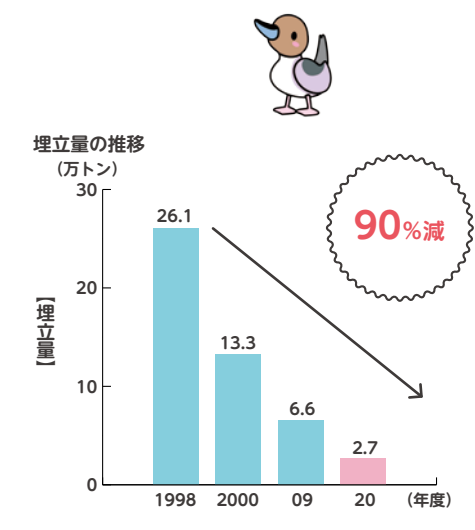
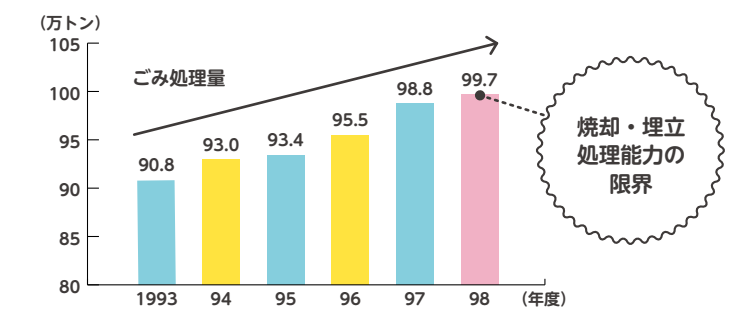
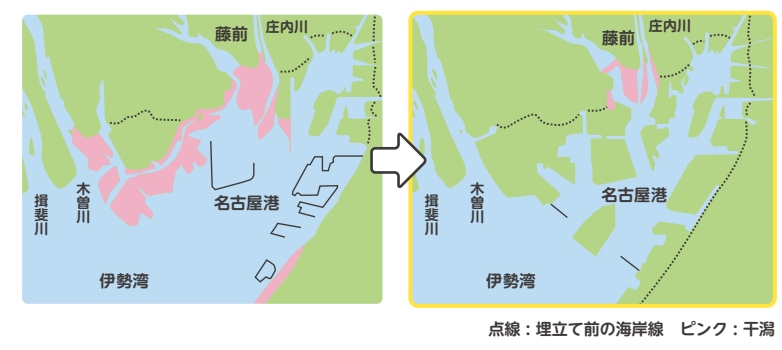
しかし、その残されたわずかな干潟にも埋立の危機が訪れます。ごみの埋立処分場とする計画が発表されたのです。

当時の名古屋市は年々ごみが増え続けていて、今まで使用していた埋立処分場ではもうわずかに数年で埋める場所が足りなくなってしまうと予想されたため、新しい埋立場所が必要となっていたのです。

それでも、藤前干潟は渡り鳥をはじめ多くの生きものが生息する大切な場所であったため、守る必要があるとの市民の声が高まりました。

名古屋市は悩みぬいた結果、「ごみの処理も渡り鳥もどちらも大切」として、1999年1月に埋立計画を中止し、2月にごみを大幅に減らすことを呼びかける「ごみ非常事態宣言」を出しました。

そこから市民、事業者、行政が一体となり、名古屋市の人々が力を合わせて徹底的な分別・リサイクルに取り組んだ結果、今では埋立量を10分の1近くまで減らすことができました。



藤前干潟に遊びに行こう!

藤前活動センター
干潟の生きものに直接ふれあう体感学習や、いのちのつながりとはたらきを学ぶことができます。

野鳥観察館
施設内には30台の望遠鏡があり、四季折々の水鳥たちを眺めることができます。

稲永ビジターセンター
干潟の仕組みや渡り鳥の生態など、藤前干潟について学ぶことができます。

プロムナード
野跡駅から藤前干潟を臨む稲永公園内に、環境学習ができる案内表示を設置しています。

季節によってみられる生きものが違います。干潟の生きものについて知りたいとき、干潟に入りたいときや野鳥の観察がしたいときはそれぞれの施設の人に聞いてみてね!

※稲永ビジターセンター及び名古屋野鳥観察館から藤前活動センターまでは徒歩1時間程度かかります。また、2地点の直道の公共交通機関はありません。



藤前干潟とラムサール条約

「ラムサール条約」って何?
1971年2月2日に国際会議にて正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」が採択されました。この条約は、国際会議が開催されたイランの都市ラムサールにちなんで「ラムサール条約」と呼ばれています。日本では53か所の湿地が登録されています。(2022年3月現在)

ラムサール条約湿地 登録湿地数...53か所 総面積.....155,174ha

藤前干潟ラムサール条約20周年事業

藤前干潟はシギ・チドリ類やカモ類等の渡り鳥たちの重要な中継地であり、生きもの豊かな干潟です。2002年11月にラムサール条約の「国際的に重要な湿地」に登録され、2022年11月18日に20周年をむかえます。

藤前干潟ふれあい事業では、登録された11月を中心にさまざまなイベントや講座を予定しています。ぜひ遊びに来てくださいね!

ラムサール条約登録20周年おめでとうございます!
藤前干潟を未来へつなぐ為にアンバサダーとして、私の大好きな鳥たちを始め自然を守り干潟を守ることを大切さを伝えていきたいと思っています。
また藤前干潟をよりたくさんの方に愛していただけるように努めてまいります。

藤前干潟ラムサール条約登録20周年記念
アンバサダー 高柳 明音さん